令和3年3月 南魚沼市議会定例会 一般質問順位表

質問順位	議席番号		質	問	者	日程			
1	4	吉	田	光	利				
2	14	佐	藤		岡川				
3	7	勝	又	貞	夫	8日(月)			
4	11	清	塚	武	敏				
5	5	中	沢	道	夫				
6	20	塩	谷	寿	雄				
7	3	目	黒	哲	也				
8	16	中	沢		博	9 日			
9	9	桑	原	圭	美	(火)			
10	2	梅	沢	道	男				
11	13	岡	村	雅	夫				
12	22	四	部	久	夫				
13	1	大	平		岡川				
14	8	永	井	拓	\equiv	10日			
15	10	塩	JII	裕	紀	(水)			
16	15	寺	П	友	彦				
17	6	田	中	せ	つ子				
	+			1 7	'名				

【質問方式】(質問制限時間は、いずれも答弁時間を含め60分)

一括質問一括答弁方式: 全質問項目を一括して行い、答弁も一括して行う。

(初回は登壇して行い、質問回数は3回まで。)

ー問一答方式: 質問及び答弁を一問ずつ行う。(ただし初回の質問

は、登壇して最初の質問項目のみをまとめて行う。

質問回数に制限なし)

複合型一問一答方式: 一問一答方式において、質問大項目の最初の質問

はまとめて行い、以降は一問ずつ行う。

質問	質 問 内 容
順位	
1	建設業の技能者不足について
議席	ハローワーク南魚沼によると、令和2年12月の南魚沼市湯沢町
4	管内の有効求人倍率は 2.34 倍であり、産業別、規模別及び季節要
	因から一概に言えないが、コロナ禍の中、求人数が求職数を大き
	く上回る高い水準にある。また、令和3年3月高校卒業者の状況
	は、ほとんどの生徒が就職内定しており、喜ばしいことである。
吉	特に人手不足が深刻なのは、人々が生活するためになくてはな
	らない建設業である。大工、左官、屋根板金職人をはじめとする 多くの技能スペシャリストは、全国的に高齢化と人手不足が常態
	化している。南魚沼市管内の多くの事業者も例外でなく、給与・
田	福利厚生等の待遇面や働く職場環境の見直しを行い、あらゆる面
	で改善に向けた経営努力を重ねている。しかしながら、現状は職
光	人の確保と育成には厳しい状態が続いており、将来展望に大きな
	不安を感じている。
利	そこで以下に市長の所見を伺う。
	(1)職人不足及び後継者不足は業界の大きな課題である。行政と
	して支援策の考えは。
	 (2)新型コロナウイルス感染症収束後に備え、外国人の技能実習
	及び特定技能の受入れ支援を積極的に行うべきではないか。
	│ │ (3)新卒者及び若い世代に「魅力ある職場と職人」のアピールを、
	官民一体で発信すべきではないか。
$\widehat{}$	
問	
答士	
一答方式)	

質問傾位	質 問 内 容
2 議席	市民が安心できる持続する地域医療と健康と医療のまちづくり をどう進めるか
1 4	(1) 自治体病院の役割と病院経営安定という課題を抱えて、医療対策推進本部が目指す医療体制は。
佐	(2) 医療環境と経営改善に向けたタスクフォースの検討状況について ①市民病院の経営改善に向けた方向は見えてきたか。 ②ゆきぐに大和病院の改修、改築の方向性はどうか。
藤	③城内診療所の今後についての検討はされているか。 ④医師確保の手法と可能性について見通しはどうか。
	(3) 医療対策推進本部としてのまとめ方とその後のタスクフォースをどう進めるか。
剛	(4)病病連携、病診連携で地域全体の中で医療を完結する形をつ くることが持続する医療体制に必要でないか。
	(5) 今までのこの地で行ってきた医療理念を生かし、更に医療を 充実させることでの独自性ある「まちづくり」を期待するが、 医療を1つの中心に据えた「まちづくり」のビジョンはあるか。
(一問一答方式)	

質問順位	質 問 内 容
3	1 図書館の改善について
議 席	(1)大型図書館として開館した当初、日本一の図書館を目指して スタートした。大型図書館として7年目になるが、現状での自 己評価はどうかを問う。
勝	(2)図書館協議会は、図書館及び図書行政全般の改善について、 主にどのように関わってきたのか。その成果はどうであったか を問う。
又	(3)大型図書館という姿で開館した当初、「攻める図書館」として 情報の収集のみならず、情報の公開・発信に努めるという考え 方があったが、今もその考え方に変わりはないかを問う。
貞	
夫	2 市民からの投書の扱い方について 市民から市政に向けて行われる投書の回答や公開は、適切に行われているかについて問う。
(一問一答方式)	

質問傾位	質 問 内 容
4	1 除雪対策の充実で市民の暮らしをどう守るか
議席	昨年末からの集中降雪は、関越自動車道の立ち往生をはじめ、
1 1	除雪関連の事故や被害が多く発生した。市でも災害対策本部の設
清	置を行うなどの大雪になった。このような状況の中、豪雪時の道路除雪や、過疎や高齢化が進んだことによる除雪労働力不足、また、来年から屋根雪除雪時の安全帯着用が厳格化されるなど課題がある。雪国の市民の安全と、生活道路環境をどう守っていくのか伺う。
塚	(1)除雪中の事故防止と、住宅の屋根雪下ろしを行う際の安全確保をどう進めていくのか。
武	(2) 雪処理の担い手、業者を含めた労働力、ボランティア等の人 材の安定確保が、地域ごとに必要と考える。今後、行政がどの ように進めていくのか。
敏	(3)消雪パイプ路線でも水量不足等で十分な消雪ができない場合 がある。機械除雪併用による柔軟な道路除排雪体制が必要では ないか。
	(4)除雪費の安定確保が除雪体制の充実につながる。国、県にど う働きかけていくのか。
	2 市民バスの目指す姿は何か
(一問一答	地域公共交通網形成計画が昨年策定され、地域の課題や公共交通の現状・問題点などを踏まえ、市が目指す将来都市像を実現する上で持続可能な公共交通網のビジョン、目標及び施策が示された。目指す姿の概要はいかに。
一答方式)	(1)利用者数、収益率も低い。地域を巻き込んだ運行見直しや利 用促進をどう進めていくのか。
	(2)対象エリアの栃窪・岩之下、後山・辻又コースの地域の実態 に即した、スムーズに移動できる新たな交通サービスの実証事 業の概要を伺う。

質問傾位	質 問 內 容
5	1 新型コロナウイルス感染症への対応について伺う
議席	(1) PCR検査を抜本的に拡充すべきではないか伺う。
5	①高齢者施設、医療機関での職員も含めた積極的な検査に踏み
	出すべきではないか伺う。
	②検査費用を国が全額負担するよう求めるべきだと思うが、見解を伺う。
中	(2)新型コロナウイルス感染症による医療機関の減収支援と医療 対策について伺う。
沢	①令和2年度の市民病院の純損失が拡大した要因は新型コロナ
0	ウイルス感染症による減収ではないのか、見解を伺う。 ②減収は病院独自の努力で解決する問題ではないと考えるがど
道	うか。国に減収補填を求めるべきではないか、見解を伺う。
	③医療対策推進本部では、市民病院が市民の健康や命を守るためにはるいる独創な思なせのか業計してするいない。原際の
夫	めにどういう役割を果たすのか議論してもらいたい。病院の 効率優先の話にならないようにということを指摘したい。見
	解を伺う。
	(3)新型コロナウイルス感染症に伴う市民の苦難軽減施策につい
	て伺う。 ①国民健康保険税の軽減と子供の均等割廃止を決断すべきでは
	ないか何う。
	②就学援助制度が使いやすくなるよう、また援助項目も拡充す
$\widehat{}$	べきだと考えるが、見解を伺う。 ③生活保護申請の際に扶養照会が高い壁になっている。当市で
問	の運用について伺う。
一答方式)	2 高齢者の医療圏域外及び県外への流出について伺う
式	高齢者が、施設入所などで医療圏域外や県外に流出している状
	況をどうするのか。その施策を示すことが必要ではないか。その
	検討をどこで行うのか伺う。

質問順位							質	Í		問		内		Ź	\$										
6 議席			療の つい	_	ちづ	ĵ <	Ŋ	検	討:	委員	会	の扱	言	を	受	け	て	の	今	後	の	医	療	対	策
2 0		設計	置し	各	ちづ 分野 いて	で	具	体的		_	•		-							-					
塩	(1	,			院 <i>の</i> か。									-				-					む	t	の
谷	(2	象~	では	な	は、 い。 制度	ま	た	, Ī	市	立疖	· 「院	等に	二勤	務	す	る	医	療	技	· 術	職	員	修	学	資
寿 雄		である利用	あるでし	。あて	先当り資い	に助を	は産取	、 師 っ	産を	科に目指	t市 i i し	立非た当	ラ院 全生	等 は	に 市	はの	な修	く 学	資	魚金	沼貸	基与	幹制	病度	院 を
(一問一答方式)		直	す	え	はな	· ()	カゝ	0																	

質問	- Table 1
順位	兵 III T
7	
	1 下水道整備による生活環境の保全と下水道資源を有効活用した
議席	循環型社会の構築について
	現在、南魚沼市の生活排水処理に関しては、流域下水道六日町
3	浄化センターを処理機能の拠点化として事業を進めている。
	そこで以下の4点について市長の見解を伺う。
	(1) し尿等受入施設の供用開始にあたり、流域下水道施設の受入
	能力を把握していたのか。
	(2) し尿や浄化槽汚泥の通年投入、また農集汚泥の流入時期につ
目	いて、県と十分な打合せ等はしていたのか。また、搬入の受入
	れができない状況になった場合の対応策はあるのか。
黒	(3)普及に努めている生ごみや紙オムツ粉砕で発生する汚泥を現
	下水道処理施設で処理できる能力はあるのか。あわせて、災害
1.15	時において対応できる能力はあるのか。
哲	(4)今後、下水道資源を有効活用し、エネルギーの地産地消を考
	えた循環型社会への取組を進めていくのか。
也	
	2 市民病院の経営状況について
	社会厚生委員会において、今年度の市民病院の収支見込みが新
	型コロナウイルスの影響もあるが、厳しい財政状況にあるとの説
	明を受けた。その中で資金不足比率について、今までの病院事業
	会計では資金不足は発生していなかったが、来年度は資金不足に
	陥る可能性もあると説明があった。令和3年度予算を見ると、キ
	ャッシュ・フロー計算書では、資金期末残高が、前年度に比べ大
	幅に減少し 500 万円ほどとなっている。今後、一時借入金の増な
	ど負のスパイラルに陥るのではないか懸念される。この状況は、
	令和 3 年度の病院経営において、どのような影響が出てくるのか。 * 7 2
問	を伺う。
<u>~</u>	0 でからははははなれるはまにのいて
答方式)	3 デジタル地域通貨の導入について
力式	市内の商店街では、それぞれ地域でポイントカードを展開している。またの利便性な考えてい、ま中で統一しなデジタル地はほ
	いる。市民の利便性を考えると、市内で統一したデジタル地域通
	貨を発行し、地域経済の活性化とともに健康ポイントやボランテ
	ィアポイント等も加算できるシステムを考えてみてはどうかと思 う。市長の見解を伺う。
	1 日長(/) 日

質問順位	質 問 内 容
8	1 コロナ禍で、市民の命と生活支援強化について
議席	コロナ禍の長期化で甚大な打撃を受けている。市民を支えるた
1 6	め、必要な手だてを迅速に打つべきである。そこで具体策を伺う。
	(1) ポストコロナに向けた当市の具体的な追加経済支援策につい て
中	(2) うつ・DVなど心のケアの体制と弁護士無料相談体制の拡充 を含めた、社会的孤立の防止に向けた相談体制の強化について
沢	(3)特定処遇改善加算の取得促進を含め、ポストコロナも見据え た介護人材不足の処遇改善を急ぐ取組について
博	2 行政のデジタル化の推進について
(一問一答方式)	国のデジタル社会の実現に向けた改革の基本方針には、「人に優しいデジタル化」のため徹底した国民目線でユーザーの体験価値の創出を図ること、人の多様性に尊厳を持つ社会を形成するため「誰一人取り残さない」デジタル化を進めることを掲げている。市民生活の向上や豊かさの実感につながるデジタル化をあらゆる分野で進めていく必要がある。そこで当市の取組について伺う。 (1)マイナンバーカード、マイナポイントの現状と取得促進について (2)スマートフォンを活用した行政証明書発行について (3)情報弱者への支援について (4)仮称「デジタル戦略室」の設置の考えについて

質問順位	質 問 内 容
9	コロナ禍において教育環境と市民の暮らしをどう守るのか
議席	新型コロナウイルスの感染拡大による経済的な疲弊が、子ども
9	の教育環境や子育て世代の暮らしに甚大な影響を与えている。特
	に子どもたちの教育格差、栄養事情、乳幼児期の発達等を健全化 しなければ、将来的に大きな不安要素になる。
	国から大きな交付税措置が取られているが、直接的に市民の暮
桑	らしを守る義務があるのは基礎自治体であり、我々にその責任が ある。
原	(1)休業措置による児童生徒、家庭への影響を詳しく把握したか。
	また、それを今後、効果的に生かせるか。
量	(2) GIGAスクール構想の進捗状況と活用方法は。
美	(3) 医療費、出産費用、妊産婦、産後ケアなど、子育て世代への 支援策をどのように考えているか。
	(4)大学、短大、専修学校等の修学支援をどう考えるか。
問一	
一答方式	
式	

質問傾位	質 問 內 容
1 0	1 雪下ろし時の命綱固定器具設置補助金制度の創設を
議席	南魚沼市においても、今冬の雪下ろしなどの除雪作業に係る事
2	故の発生状況を鑑みると、県が令和3年度予算に計上した命綱固 定器具の設置補助金に連動した、補助制度の創設が喫緊の課題と 考えるが、市長の考えを伺う。
梅	2 医療機関の連携と医療情報の共有化に向けた「うおぬま・米ねっと」の推進方針について
沢	南魚沼市がその中心となり推進してきた「うおぬま・米ねっと」 のこれまでの成果と、今後の介護情報の共有も含めた「うおぬま・
道	米ねっと」に対する南魚沼市の推進方針について伺う。
男	3 教師の多忙化解消に向けた取組の推進について
	(1)学校現場の働き方改革の実現に向けた、国の「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」に基づいた「公立学校の教師の勤務時間の上限に関する方針」の早期の策定と共に、これに実効性を持たせるためにも「南魚沼市立学校管理運営に関する規則」に勤務時間上限規定を追加する改正を急ぐべきと考えるが、教育委員会の考えを伺う。
(一問一答方式)	(2)学校現場の多忙化解消に向け配置されたスクールサポートスタッフについて、国は令和3年度も配置拡充の方針を打ち出したが、補助率等の変更も予定され、自治体の負担増も予想される。しかし、コロナ禍での対応も含め、学校現場では配置の継続が必須の状況である。このスクールサポートスタッフの令和3年度配置に向けた教育委員会の方針について伺う。

質問順位	質 問 内 容
1 1	南魚沼市民病院玄関ポーチ倒壊について
議席	1月11日、最も安全でなければならない市民病院の玄関先で、
1 3	あってはならないことが起きた。玄関ポーチのキャノピーが、除
	雪作業を開始した 20 分後に倒壊し、雁木に寄りかかった。私は 1 月 14 日に、現場に遭遇し、夕方から解体作業を開始すると伺った。翌日の午前 10 時からの、市長との懇談の冒頭で、「大変なことが起きた」と指摘した。
岡	建設してわずか3年1か月余りでの倒壊だ。建設総工事費は、 5,779万800円だった。今議会には、補正予算に解体費800万円、 新年度当初予算では、収入に建物損害共済金5,000万円、支出に
村	災害損失 6,000 万円が盛られている。 事故が起きて、損害保険金が出て、再建されて良しとする問題
雅	ではないと考える。原因を究明し、今後の教訓とするべきだ。
夫	(1)事故発生直後の午後1時30分に報告を受けて、順次指示をされたと思うが、時系列で指示内容を伺う。
	(2)原因は何と考え、原因究明をどう進めるのか伺う。
	(3)設計、施工、発注者、使用管理者等の責任が問われる事故と 考えるが、所見を伺う。
	(4) 再建するに当たっての方針を伺う。
(一問一答方式)	

質問順位	質 問 内 容
1 2	1 農業政策について
議席	農林水産省の全国の米の生産数量目標によると、2021年産の需
2 2	要に見合った適正な生産量は 679 万トン、2020 年産米より 56 万
	トンの減産が必要で、過去最大の下げ幅となった。
	それを受け、県では 2020 年の生産実績 59 万 5,400 トンから 1
	割以上の減産が必要な 52 万トンとした。面積換算で 9 万 5,500 へ
阳	クタールである。 当市においては、長年守ってきた特Aが 2017 年に陥落したが、
l _{2h} 1	翌年には再び特Aに復帰し、1等米比率も令和元年産米 26%から
1	令和2年産米は76%へと回復した。このように、農業関係者や生
部	産者の努力で米生産に取り組んできただけに今後の米政策を大変
	危惧している。
久	ちなみに当市の作付面積は令和2年度4,940 ヘクタールだった が、令和3年度は4,474 ヘクタールの目標で約10%減となり、500
	ヘクタールが主食米から非主食米、園芸への転換が必要とのこと
夫	である。農業者はかつてない大きな不安を抱いている。
	今後の農業政策について4点伺う。
	(1) 今後の需要に応じた米生産をどのように捉えているか伺う。
	(2) 中山間地耕作者の支援は。
	(3)農地集積に向けての農地提供者の支援を。
	(4) 小中規模農業者や新規就農者の支援強化を。
	2 防災士の養成について
問問	現在、自助・共助・協働を原則として、社会の様々な場で防災
	力を高める活動が期待されている。防災士とは、あまり聞き慣れ
答方	ないが、そのための十分な意識と一定の知識、技能を修得したことを日本防災士機構が認証した人である。
式	現在、各市町村も力を入れており、全国で 20 万 4,000 人が認証
	されている。県内でも13市町村が防災士養成に取り組んでいる。
	全国で大きな災害が毎年多く発生している。当市においても、
	冬、夏の自然災害が多発している中、地域防災力の向上を図っている。またないないないないない。日知は日本
	いくためにも人材育成を進めていくべきと考えるが、見解を伺う。

質問	<u>質</u> 問内容
順位	
1 3	10年先を見据えて除雪・克雪の方策を
議席	(1) 市道除雪の現状と今後の方策は。
1	(2)住宅除雪援助の現状と今後の方策は。
大	
平	
'	
四山	
岡川	
問問	
答	
(一問一答方式)	

質問順位	質 問 内 容
14 議席	1 大雪によるJRの運休等について市として取り組めることはないか
8	大雪によるJRの運休や遅延は、ここ数年多くなっており、市
	内の高校生の通学や、会社員の通勤に支障が出ている。この現状 に対し、市としてどのように対処するかについて問う。
永	(1) JRに対して公共交通を担うために必要な支援をすることは できないのか。
井	(2) 市による代替輸送の支援等はできないのか。
拓	2 今後の除雪体制について
11]	南魚沼市の将来的な道路除雪については、機械除雪による体制 確保を目指しているが、以下について質問する。
	(1)新規の消雪パイプ設置路線の予定があるか。
	(2) ロードヒーティングなどの技術の採用予定はあるか。
	(3)機械除雪の場合は将来的にどのように人員確保に当たるか。 企業支援策はあるか。
(一問一答方式)	

質問順位	質 問 内 容
1 5	集中豪雪による家屋屋根破損に対する支援について
議席	昨年末からの集中豪雪は、屋根の雪下ろしを請け負っている業 者の手が回らないほどであった。そのため、作業が間に合わず屋
	根が破損してしまった家屋が多数見受けられる。そこで、業者に頼らざるを得ない高齢者世帯、要援助世帯に対し、屋根修繕費の助成が必要と考えるが、市長の見解を伺う。
塩	
ЛП	
裕	
紀	
(一問一答方式)	

質問傾位	質 問 内 容
1 6	令和3年度施政方針について
議 席 1 5	(1)新型コロナワクチン接種クーポン券に商品券をつけて接種を 勧奨する考えはないか。
	(2)第3次南魚沼市スポーツ推進計画に公共施設等総合管理計画 の個別施設計画をどう生かすのか。
寺	(3) 市道の舗装状況を速やかに総点検して補修し、災害に備えるべきではないか。
	(4) 特定地域づくり事業協同組合制度にならった多業種労働とい うマルチワークで若者を安定的に雇用する仕組みづくりを始め るべきではないか。
友彦	(5) 魚沼地域定住自立圏共生ビジョン第2期計画策定に新たなご み行政をどう取り入れるのか。
(一問一答方式)	

質問傾位	質問內容
1 7	1 地域福祉計画の安心・快適な生活環境づくりについて
議席	第2次南魚沼市総合計画の総合的な人口減少対策の推進として、144年、中央は14年12月12日は14年12日は14日は14日は14日は14日は14日は14日は14日は14日は14日は14
6	て、移住・定住施策に取り組んでいるが、昨年 12 月 16 日からの 集中降雪では関越自動車道で大規模な車の立ち往生が発生し、そ
	のニュースは全国放送され、雪国のイメージダウンにつながった
	のではないかと心配だ。当市の人口減少は加速しており、65歳以
	上の高齢化率は33.5%に達している。高齢者世帯や空き家も増え、
	雪による人的被害や建物被害も発生している。豪雪地特有の雪へ の負担軽減のための除雪支援について伺う。
	(1) 高齢者や要配慮者世帯などへの住宅除雪援助事業は、対象要
中中	件が厳しい。上限を24時間から40時間にしたが、更に利用し
'	やすく拡充できないか。
せ	(2) 南魚沼市社会福祉協議会では除雪ボランティアによる除雪作
	業を行っているが、要請に応えきれない現状と聞く。市で有償
つ	ボランティアを募集し、危険な空き家にも対応を。 (3)水量不足の消雪パイプが増えているが、機械除雪に頼らず修
子	(3) 水量が足の相当バインが増えているが、機械除当に積らする 繕を進める考えか。
'	(4) 閉じこもりがちな冬場も高齢者の安全な活動が守られるよう
	歩道除雪の拡充を。
	2 誰もが安心して住み続けられる持続可能な交通施策について
	人口減少と少子高齢化が進む中で、市民が自由に活動し、人と
	の交流を楽しめることは健康寿命延伸のためにも必要不可欠であ
	り、路線バスと市民バスの役割は大きい。医療のまちづくり検討
	委員会の提言を受け、医療対策推進本部のまちづくりタスクフォ
	ースで、交通手段の確保を検討しているが、現状の不便さを訴え
問	る声が増しており、改善を続けながらまちづくり全体の検討も進
<u>~</u>	めるべきと思うが、所見を伺う。 (1) 末足がスでも 敗線がスでも 末足病院の受けに関に合わない。
答方	(1)市民バスでも路線バスでも、市民病院の受付に間に合わない場合がある。大和病院と市民病院の巡回コースが必要では。
式	(2) 高齢者運転免許証自主返納支援事業は昨年度より利用が減っ
	ている。冬場の交通手段及び安全確保のためにも、事業の見直
	しや拡充が必要と思うが、検討しているか。
ĺ	